



## 「設計・施工マニュアル」改訂！

平成30年4月ノンフレーム工法研究会では「設計・施工マニュアル」を改訂しました。

平成30年4月、4年ぶりに「設計・施工マニュアル」を改訂しました。  
今までの「設計・施工マニュアル」（平成26年4月版）との変更点の概要をご案内します。  
今回の改訂では、下記の2点について改訂を実施しました。

- ①豪雪地帯での留意点の記載
- ②維持管理に関する内容の見直し

これは、本工法が初めて施工されてから約20年が経過し、数多くの施工実績および施工後の経年調査等のデータが蓄えられたこと、並びに近年公共施設の維持管理に対する重要性が高まっていることから、技術委員会での協議結果等を踏まえて実施したものです。

### 「設計・施工マニュアル（平成30年4月改訂版）」

#### 4. 設計

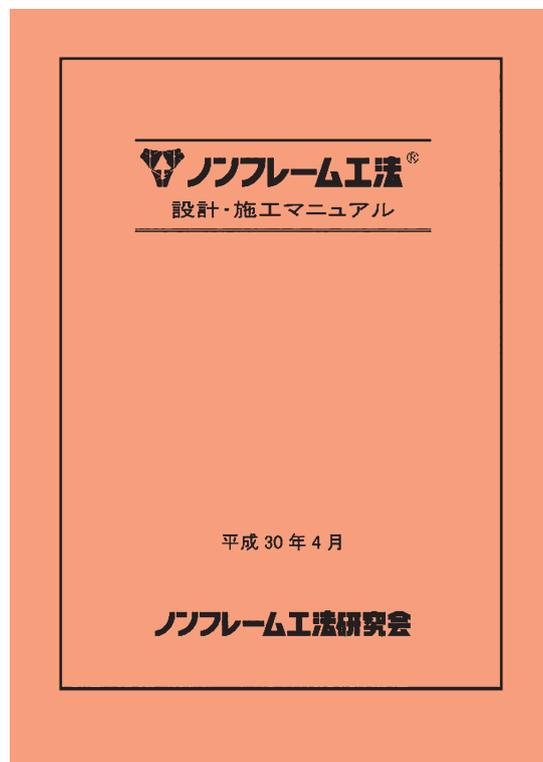
##### 4-6. 豪雪地帯での留意点

豪雪地帯では、積雪深、斜面の傾斜および植生状況により、大きなグライド力が発生する場合があります。そこで、ノンフレーム工法の計画に当たっては、現地状況に応じ適切な雪対策を検討する旨を記載しました。

#### 6. 維持管理

- 6-1 維持管理の目的
- 6-2 維持管理の手順
- 6-3 点検
  - 6-3-1 点検の種類
  - 6-3-2 点検の方法
  - 6-3-3 点検項目
- 6-4 原因分析・対策

施工後の経年調査結果を踏まえ、維持管理についての内容の拡充を図りました。



### 「維持管理マニュアル」近日発刊予定

ノンフレーム工法研究会で「設計・施工マニュアル」記載されている維持管理に関する内容をより充実させた「維持管理マニュアル」を作成中です。  
マニュアルには点検調査票、調査歩掛などを盛り込む予定です。

# 第16回ノンフレーム工法写真コンクール 結果発表!

今年7月に開催された、ノンフレーム工法研究会第18回定時総会において、「第16回写真コンクール」の結果が発表されました。

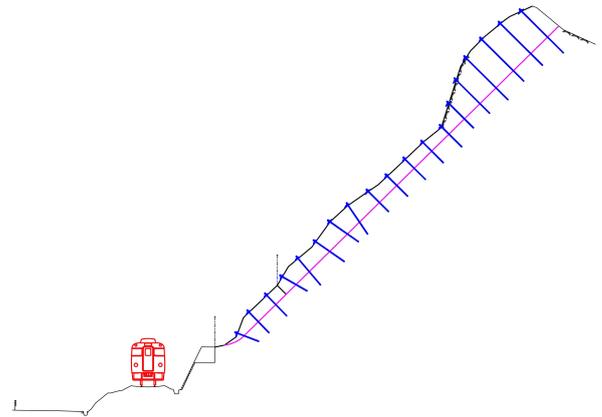
写真コンクールも16回目を迎え、応募数は33作品と若干減少しましたが、昨年同様力作が届きました。その中から、「最優秀賞」1点と「優秀賞」6点の中から1点の2作品を紹介します。

## 【最優秀賞】



名工建設(株)／大野様

この現場は、大雨の影響で土砂崩れが発生し、線路が寸断された斜面です。崩壊部は法枠工で復旧し、その周辺の残存土砂崩壊対策としてノンフレーム工法で法面補強を行いました。崩壊した斜面での施工であったため、急傾斜での作業が多く、オーバーハングした箇所もあり安全管理に苦勞する現場でした。また、斜面直下は鉄道のため、落石等により列車の運行を阻害しないように注意して施工しました。



## 【優秀賞】

(株)シーテック／山下様

この現場は、山岳地にある送電線鉄塔の土砂崩壊防止対策工としてノンフレーム工法が採用されました。資材は山の上までヘリコプターで運搬し、そこから設置箇所までモノレールを使って搬入しました。なお、毎日片道30分かけて現場まで山登りを行うハードな現場でした。



ノンフレーム工法は近年、新規分野（鉄道、電力）での採用が増えてまいりました。上記2点も新規分野での採用事例です。

上記2作品を含む、「最優秀賞」および「優秀賞」6点は、ノンフレーム工法のホームページ <http://www.non-frame.com> よりご確認頂けます。

また、来年も「第17回ノンフレーム工法写真コンクール」の開催を予定しております。来年のコンクールでは、特別賞として「経年変化賞」を創設予定です。多数のご応募お待ちしております。応募については、来年（平成31年）2月頃にホームページ上に案内を掲載予定です。